

Question No.1607

高マグネシウム血症になる原因は何か？
(2013年11月、病院薬剤師より)

Answer

経口的に摂取されたマグネシウムは、小腸全般と大腸の一部において吸収されて、主に腎臓から排泄される。この吸収率に影響を及ぼす因子にはマグネシウム摂取量、ビタミンD、副甲状腺ホルモンなどがあり、ビタミンDと副甲状腺ホルモンはマグネシウムの吸収率を高める。

また、腎臓からのマグネシウム排泄に影響する抑制因子として、細胞外液量の減少、GFR（糸球体ろ過量）の減少、副甲状腺ホルモン、低カルシウム血症、ビタミンDなどが関与する。¹⁾

高マグネシウム血症の場合は、腎不全患者が制酸薬または瀉下薬などのマグネシウム含有薬物を服用して起こることが最も一般的である。²⁾

酸化マグネシウムは、昭和25年から便秘薬や制酸薬などとして広く使用されており、関係企業が推計したおよその年間使用者数は約4,500万人（平成17年）である。

平成17年から平成20年までに報告された酸化マグネシウムの服用と因果関係が否定できない高マグネシウム血症15例について、専門家による検討を行った結果、統合失調症や認知症を合併している患者などに対して漫然と長期投与されていたと考えられる症例及び高マグネシウム血症による症状と気づかないまま重篤な転帰に至った症例が認められた。³⁾

高齢者の症例で潜在性のCKD（慢性腎臓病）に、脱水によるGFR低下と酸化マグネシウム内服により代謝性アルカローシスが発症・維持され、アルカローシスとビタミンD内服により高カルシウム血症となった結果、急性腎不全となりマグネシウム蓄積による高マグネシウム血症が認められた症例の報告もあった。⁴⁾

[参考資料]

- 1) 生化学的検査E.電解質・鉍質関係Mg, 荒川泰行, 荒川康雄, 日本臨床, 68巻増刊号 272-278, 2010
- 2) メルクマニュアル
- 3) 医薬品・医療機器等安全性情報 No.252, 2008
- 4) 武蔵野赤十字病院, 花田繁他, 日腎会誌 50, 6, 2008
〈執筆協力会社〉東邦薬品(株)半田営業所

Question No.1608

性器のヘルペスウイルスを検出する検査試薬はありますか
(2014年5月)

Answer

性器ヘルペス感染症は、単純ヘルペスウイルス (herpes simplex virus : HSV) 1型 (HSV-1) または2型 (HSV-2) の感染によって、性器又はその周辺（病変部位：男性は包皮や冠状溝、亀頭、女性は外陰部や子宮頸部）に浅い潰瘍性又は水疱性病変を形成する疾患である。本疾患の発症には、外部から入ったHSVの初感染によっておこる初発（急性型）と、仙髄神経節に潜伏感染していたHSVが宿主の免疫が低下する等何らかの刺激によって再活性化したことで起こる再発（再発型）及び、過去に感染していたが無症状で免疫低下を契機としてウイルスが活性化し初めて病変を経験する非初感染初発（誘発型）の3種類の臨床型がある。^{1), 2), 3)}

外陰部に浅い潰瘍性や水疱性病変を認めた場合は性器ヘルペスが疑われるが、鑑別を要する類似疾患が多く、診断に苦慮することも多い。また、非典型症例も多いため、迅速な抗原検査により正確な診断をすることで誤診による無駄な投薬治療を防ぐことや、適切なカウンセリングを施行しHSVに対する理解や他人への感染予防などの指導に努めることは非常に重要である。^{1), 4)}

以下に、性器のHSV抗原を迅速に検出できる検査試薬を紹介する。

■主な水疱、潰瘍又はびらん中の単純ヘルペスウイルス抗原検出キット⁶⁾ [体外診断用医薬品]

(2014年5月現在)

商 品 名	プライムチェック HSV (単純ヘルペス)
会 社 名	アルフレッサファーマ
使 用 目 的	水疱、潰瘍又はびらん中の単純ヘルペスウイルス抗原の検出 (性器ヘルペスウイルス感染症の診断の補助)
検 体 の 採 取 方 法	滅菌綿棒で水疱、潰瘍又はびらんから上皮細胞を十分擦過採取する
測 定 原 理	免疫クロマトグラフィー
判 定	目視 (赤～赤紫色のライン)
反 応 時 間	10～15分
キ ッ ト の 構 成	テストプレート、検体抽出液、ノズル (フィルター付き)、 メンティップ病院用綿棒1PW1505P (滅菌綿棒)
有 効 期 間	18ヵ月
貯 法	2～30℃
包装/希望小売価格 (税別)	5回 (Sタイプ) /10,500円

◆詳細については製品添付文書等で確認のこと。

■保険点数⁵⁾ (2014年5月現在)

◆詳細については診療点数早見表等で確認のこと。

D012 感染症免疫学的検査 36 単純ヘルペスウイルス抗原定性 (性器) : 210点

D026 検体検査判断料 5 免疫学的検査判断料 : 144点 (月1回)

[参考資料]

- 1) 性感染症 診断・治療 ガイドライン2008年度版, 日本性感染症学会 (2014年5月時点)
http://jssti.umin.jp/pdf/guideline2008/jssti_guideline2008.pdf
- 2) 性器ヘルペスウイルス感染症とは, 国立感染症研究所 感染症情報センター, 国立感染症研究所 (2014年5月時点)
<http://www.nih.go.jp/niid/ja/kansennohanashi/424-genital-hsv-intro.html>

- 3) 感染症法に基づく医師及び獣医師の届出について 32 性器ヘルペスウイルス感染症, 厚生労働省 (2014年5月時点)

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou11/01-05-32.html>

- 4) 新しい単純ヘルペスウイルス迅速検出キットの性能評価, 早川潤他, 日本性感染症学会誌, 23・1, 119-123, 2012
- 5) 厚生労働省告示第五十七号, 官報 号外第45号, 64-65. 67, 2014. 3. 5
- 6) 製品添付文書、メーカー案内文書、メーカー回答

[調査機関]

アルフレッサ ファーマ株式会社 TEL06-6941-0308

〈執筆協力会社〉(株)メディセオ 学術情報部